

愛知県内科学・博物館施設との比較について

調査について

愛知県内の科学館・博物館等28施設に対して平成18年度決算額による運営状況についての調査を依頼し、20施設から回答を得た。これらの施設から動植物園等を除き、有料施設かつ資料作成に必要となる数値について回答を得られた15施設と生命の海科学館単独、センター・科学館合算の17施設で比較を行った。

< 比較施設 >

稲沢市荻須記念美術館、犬山市文化資料館、岡崎市美術博物館、刈谷市美術館、新城市設楽原歴史資料館、高浜市やきもの里かわら美術館、津島児童科学館、豊田市美術館、豊田市民芸館、豊橋市二川宿本陣資料館、長篠城址史跡保存館、名古屋市科学館、名古屋市美術館、碧南市青少年海の科学館、三河武士のやかた家康館、生命の海科学館、情報ネットワークセンター+生命の海科学館

資料作成にあたっての特記事項

生命の海科学館は、情報ネットワークセンターとの複合施設であり、人件費等の決算数値は、センターとの区分がなされていない。比較資料作成に当たっては、正規職員人件費については事務事業評価による人員数を参考に、センター・科学館費の常勤人件費の47.5%を、また、非常勤・パート人件費については業務案分として70%を科学館分として計算した。

施設運営費に対する収入の割合

生命の海科学館単独では施設運営費57,896,261円に対して、入場料及びその他の収入(市民利用証作成料金、展示案内・ハンドブック等書籍販売代金等)は8,917,629円であり、運営費に対する収入の割合は、15.4%(入場料13.1%、入場料以外2.3%)となっている。また、センター・科学館合算では、運営費116,185,066円(本庁ネットワーク等にかかるものを除く)に対して、収入は11,469,963円であり、収益割合は9.9%(入場料6.6%、入場料以外3.3%)となる。

